

# 研修・視察報告書

R8年 1月 23日

太田市議会議長 星野 一広 様

参政党 仁藤すぐる

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	R8年 1月 23日(金) ~ R8年 1月 23日(金)
研修・視察先 及び所在地	地方議員研究会 東京都新宿区西新宿 7丁目 21-3
議 員	仁藤すぐる
目 的	自治体の予算編成過程を理解し、 より実効性のある予算質疑に参考にするため。
概 要	2026/1/23(金)10時~木村講師【東京】予算議会とは何か? 2026/1/23(金)13時半~木村講師【東京】効果的な質疑のための準備と視点

「所見」

## 2. 研修で学んだ主なポイント

### ① 予算は「2月に始まる」のではない

多くの市民の皆様は、予算案が2月議会で初めて議員に示されると思われがちです。しかし実際には、前年度の秋ごろから編成作業が始まっており、議会に提出される頃にはすでに概ね固まった状態になっています。

### 【予算編成の流れ】

時 期	内 容
9~10月	決算作業と並行して次年度の予算検討を開始
11月	当初予算ヒアリング開始（各部署からの要望集約）

12～1月	財政課にて予算案を作成
1月	首長による査定
2月	議会へ予算案提出（この時点では概ね固まっている）

## ② 「2月に言っても意味がない」は半分正解

2月議会の段階では大幅な修正は難しいのが現実です。しかし、時期に応じた関与の仕方があることを学びました。

### ▶ 効果的な質疑のタイミング

#### ① 決算議会（最重要）

事業の効果を検証し、次年度予算への改善を求める「布石」となる。

#### ② 12月議会（重要）

予算編成の途中段階。この時期に問うことで反映の余地がある。

#### ③ 2月議会

最終確認・意思表示の場。大幅修正は難しいが、記録として重要。

## ③ 議員と職員の役割の違いを理解する

議員と職員では立場・役割が異なります。この違いを理解せずに議論すると、すれ違いが生まれることがあります。互いの立場を理解した上で議論することが、政策を前進させる上で不可欠です。

	議 員	職 員
身分	非常勤（選挙で選ばれる）	常勤（採用試験）
視点	横断的・政策全体	縦割り・所管業務
重視点	理想・あるべき姿	実務・現実対応

## 3. 率直な所感

正直に申し上げると、自己紹介や事例紹介に時間が割かれ、予算質疑の技術的な部分はやや薄い印象も受けました。また、二日目に参加できなかったことは心残りです。

しかしながら、以下の点は今後の議会活動に大きく役立つ学びでした。

- ・ 予算編成の「時間軸」を理解できたこと
- ・ どのタイミングで何を問うべきかが整理できたこと
- ・ 事業の効果を数値で検証することの重要性を再認識したこと

#### 4. 研修内容

##### (1) 予算編成の時系列整理（議会関与の最適化）

予算案は2月議会で提出されますが、行政内部では決算作業と並行して次年度の検討が始まり、11月頃から当初予算ヒアリング、12～1月に予算案作成・首長査定を経て議会提出となります。

このため、議会としては2月議会のみならず、決算審査および12月議会の段階での指摘・論点提示が有効です。

##### (2) 「目標（KPI）と実績」に基づく質疑設計

事業評価の基本として、計画に掲げる目標値（KPI）と実績値を照合し、未達の場合は要因・改善策・次年度方針を確認します。

「数値の確認で終わる」質疑を避け、次年度以降の検証に役立てられるよう、以下の確認ポイントを質疑で設定することが重要です。

確認ポイント	内容
目標（KPI）	計画に掲げた定量的な目標値
実績	実際の達成値（年度末）
乖離・要因	未達の場合：原因と背景の説明
改善策	次年度に向けた対応方針
評価指標	「成功・失敗」の定義と測定方法

##### (3) 資料を根拠とする質疑（客観性の担保）

議員の主観に依存せず、以下の公的資料を根拠として論点を構成する手法が示されました。

###### ▶ 主な参照資料

- ・ 総合計画（施策目標・施策評価）
- ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略／人口ビジョン（社会増減・自然増減、KPI）
- ・ 決算審査意見書（監査委員による指摘・留意事項）
- ・ 条例・法令（制度根拠、整合性確認）

これにより、「市が自ら掲げた方針・目標」と「現状」の乖離を整理し、説明責任および改善方針を問う質疑が可能になります。

#### (4) 予算の妥当性を見る主要観点（実務フレーム）

事業の継続可否・見直し判断に資する観点として、以下の評価軸が示されました。

パターン	着目点
目標未達が続いている事業	改善策が示されているか／続ける根拠があるか
実績が減少しているのに予算が据置	費用対効果が低下していないか
実績が増加しているのに予算が据置	供給体制・品質が維持できているか
全国・他自治体に比べ伸びが弱い分野	外部環境との乖離の原因は何か

#### 5. 所見

予算審査においては、2月議会での指摘に加え、決算審査・12月議会において論点を提示し、次年度予算へ反映させる「時間軸を意識した質疑」が重要であると理解しました。

また、質疑は確認に留めず、目標と実績、要因分析、改善方針、評価指標を整理し、次年度以降に検証可能な形で議会として論点を残す必要があります。

#### 6. 今後の活用（太田駅南口再開発への適用）

本研修で得た手法は、太田駅南口再開発等の大型事業の検証に直接活用できます。

具体的には、再開発事業について以下の項目を整理し、決算審査・12月議会・2月予算審査の各段階で段階的に確認・検証を行います。

確認項目	主な内容
① 事業目的	利便性向上・にぎわい創出・定住促進・防災機能 等
② 目標指標	利用者数・交流人口・商業機能・交通結節・周辺回遊性 等
③ 進捗と実績	工程・コスト・便益・関係者調整状況 等
④ 未達・乖離	要因の分析と是正策の有無
⑤ 次年度予算	見直し・重点化・代替案の反映状況

加えて、総合計画等に掲げる施策目標との整合、決算審査意見書等の指摘事項の有無も踏まえ、客観資料に基づく質疑を構成します。適切な事業執行と説明責任の確保に資する検証を行ってまいります。

## 7. 今後の実施方針（議会対応の整理）

本研修を踏まえ、以下の方針で議会活動に取り組んでまいります。

時 期	取り組み内容
決算審査	再開発事業の進捗・課題・次年度方針を確認し、議会として論点を提示する
12月議会	編成途中段階での重点事項（工程・財源・リスク対応）の考え方を確認する
2月予算審査	決算・12月議会での指摘が予算案に反映されているかを検証し、必要に応じて改善提案を行う

予算は、市民の皆様の大切な税金で成り立っています。「いつ」「どの段階で」「どう関わるか」を意識し、より戦略的な議会活動を通じて、皆様の声を予算に反映できるよう努めてまいります。

以 上



木村講師